

スウェーデンにおける日本語教育の概要と 教育機関紹介

ウストラリアール高等学校 ストックホルム商科大学
高宇・ドルビーン 洋子

8回におよんでいるこの日本語教育連絡会議で、スウェーデンからの参加は筆者が初めてのことなので、筆者が所属する機関紹介の前に、スウェーデンにおける日本語教育の現状を簡単に紹介しようと思う。

高等教育機関での日本語教育はストックホルム、ヨテボリとルンドの三つの総合大学で単科の科目として教えられている。フルタイムでの一年間の就学で40ポイントという数え方で、日本語は、ストックホルム大学とルンド大学では120ポイント、ヨテボリ大学では90ポイントまで修得することができる。ストックホルムとヨテボリの両大学には修士博士課程がおかれている。またヨテボリ大学には、夜間の授業を中心にしたハーフタイムのコースと通信教育のコースもある。ルンド大学は、10ポイントのサマーコースがある。

また日本語は高等教育機関で、総合コースの一部としても教えられている。ストックホルム大学は東アジア専科日本コースの160ポイント中80ポイントを日本語に当てているし、ヨテボリ商科大学の国際経済学コースでは日本語を40ポイント選択できる。またリンショーピング大学の産業経済学部日本専科では、予備教育コースを含めた220ポイントの内35ポイントを日本語に当てている。

このほかに日本語は、筆者の勤務するストックホルム商科大学で、日本基礎コース（日本語及び文化）として5ポイント、日本語上級コースとして5ポイント、オプションとして選択できる。このようなコースはほかに、ストックホルム工科大学に4ポイント、ベックショー大学に10ポイント、選択コースとして設置されている。

スウェーデンの中等教育機関での日本語教育は、現在のところ高等学校に限られている。その歴史も浅く、1988年に筆者がストックホルムの二つの高等学校で日本語を第三外国語の一つとして教え始めたのが、その始めである。現在はその中の一つの高校に統合されて、授業が行われている。そのほかにウメオ市で一校、カールスコーガ市でも一校で日本語を教えている。

学校教育機関以外では、市民大学や教育サークルでも不定期に日本語コースが設置されている。

次に、筆者の所属する機関について簡単に述べる。

- | | | |
|--------|------|---|
| 1. 機関名 | 原名 | Östra Reals Gymnasium |
| | 英語名 | Östra Reals Gymnasium |
| | 日本語名 | ウストラリアールス高等学校 |
| 住所 | | Karlavägen 79, 114 59 Stockholm, SWEDEN |
| 電話 | | +46 - 8 - 662 - 21 - 22 |
| FAX | | +46 - 8 - 662 - 26 - 73 |

紹介

ストックホルムの市内にある、創立90年をこえる公立高校。大学進学を目的とした理論系のコースの高校で、生徒数はおよそ1000人。教職員数は講師を含め約60人。日本語は、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語とロシア語とともに第三外国語の一つとして1988年から教えられている。現在の生徒数は一年、二年、三年合わせて約50人。

2. 機関名 原名 Handelshögskolan i Stockholm
英語名 The Stockholm School of Economics
日本語名 スtockホルム商科大学
- 住所 Sveavägen 65, P.O.Box 6501, S-113 83 Stockholm, SWEDEN
電話 + 46 - 8 - 736 90 00
FAX + 46 - 8 - 31 81 86

紹介

スウェーデンで唯一の私立大学。1909年に創立以来、スウェーデンのビジネス界との密な協力のもとに運営されている。1992年に日本学ヨーロッパ研究所が大学内に設置された。日本語は、現在中上級コース1クラス(13名)のほかに、日本関係コース(約20名)の中でも単位の一部として教えられている。